小坂18年ぶり2回目の優勝

町地区対抗駅伝大会



先頭の御船地区から52秒遅れでたすきを受ける上野・5区の渡邉浩二選手。区間2位の力走で先頭をかわしました（写真左）
優勝のテープをユニークなポーズで切る小坂・10区の大場祐哉選手（写真下）



2月15日、御船町地区対抗駅伝大会が役場前を発着とした10区間の20.8㌔に、7地区の参加を得て行われました。今大会は、30回目の記念大会で、70人の選手が優勝を目指してたすきをつなぎました。

レース序盤の主導権をつかんだのは、昨年優勝の御船地区。4区までは、安定したたすきリレーで先頭をキープしますが、中盤で追い上げた上野地区が逆転に成功。しかし、終盤に〝タレント〟を揃える小坂地区が7区でかわすと、そのまま2位の上野地区に2分以上の大差をつけてゴールし、18年ぶり2回目の優勝を果しました。

なお、大会の成績は次のとおりです。（敬称略）

▶大会成績（順位・地区・時間）
①小坂・1時間11分30秒　⑤高木・1時間16分14秒
②上野・1時間13分55秒　⑥御船・1時間17分33秒
③七滝・1時間15分32秒　⑦滝尾・1時間19分01秒
④木倉・1時間15分55秒

▶区間賞（区間・距離・氏名・★＝区間新・地区）
▷1区（1.5㌔）／西山文菜・御船▷2区（2.4㌔）／松永匡史★・滝尾▷3区（1.2㌔）／栗永むつみ・上野▷4区（1.2㌔）／牛島良一・上野▷5区（2.6㌔）／倉内雅比古・小坂▷6区（1.5㌔）／林田海志★・木倉▷7区（1.5㌔）／永野夏純★・御船▷8区（2.4㌔）／梶本賢一郎・小坂▷9区（2.4㌔）／本田佳志・上野▷10区（4.1㌔）／大場祐哉・小坂

町からのお詫び

同駅伝大会で使用した町所有の原動機付自転車を大会終了後に、スポーツセンター内に乗車したまま乗り入れた大会関係者がおり、同センターを利用された方々に、大変なご迷惑と不快な思いを与えました。失礼があったことについて、心から深くお詫びを申し上げます。今後、このようなことが無いように指導を徹底し、再発防止に努めます。

健康で楽しくクラブ活動中

町老人クラブ大会



小坂老人クラブの活動情況を報告する木山薫会長

2月14日、第9回御船町老人クラブ大会（西坂輝夫連合会会長）がカルチャーセンターで開催され、町内40クラブの会員約500人が参加しました。大会では、クラブを代表して、井芹邦夫会長（六城会）、木山薫会長（小坂老人クラブ）、吉澤要八会長（田代東部第一クラブ）が、道路や花壇の清掃、スポーツ大会などの活動状況や会員の高齢化問題を報告しました。また、宇城市男女共同参画審議会の江村英子会長の特別講演、各クラブからの演舞や演芸、歌などのアトラクションも披露されて、大会を盛り上げました。

〝天草・熊本路〟上益城郡18年ぶりのV

郡市対抗熊日駅伝





優勝を喜ぶ上益城郡チーム
松永匡史選手＝前列右3番目、山下直樹選手＝2列右3番目、大場祐哉選手＝2列右4番目（写真上）

上益城郡チームの選手で18年前の初優勝を唯一経験している山下直樹選手。また、今大会で20回目の出場を果たし、20回表彰を受賞。年齢を重ねてもその豪快な走りとレースの駆け引きは一級品（写真左）

2月8日、第35回郡市対抗熊日駅伝が天草市役所前をスタートし、熊本市の熊日びぷれす前をゴールとした14区間の105.3㌔で行われ、上益城郡チームが18年ぶり2回目の優勝を飾りました。駅伝には、県内の郡市19チームが参加。御船町からも、3人の選手が上益城郡の代表として出場し、優勝に大きく貢献しました。

まず、レースが大きく動いたのは3区。本田匠（たくみ）選手（山都町・九州学院）が、一気に10人を抜きさり、トップで4区の大場祐哉選手（NECSKY）へたすきを渡します。「（1～3区の）中・高校生でリズムをつかんだ。とにかく先頭を譲らない気持ちで走った」と振り返る大場選手は、今大会で最長区間の11.8㌔で先頭をキープしたまま、5区へつなぎます。その後も、先頭を明け渡すことなく後続を突き放しにかかる上益城郡チーム。13区の松永匡史（まさふみ）選手（御船中3年）は、「プレッシャーの中での走りだった。2位とのタイムが縮まらないように意識して、（14区の）最終走者につなげた」と笑顔で語ります。そして、13人の汗と想いが染み込んだたすきが14区の内田博也選手（益城町・益城町役場）へと渡り、2位に3分以上の大差をつけてゴールし、天草・熊本路を見事に駆け抜けました。なお、大会の成績は次のとおりです。（敬称略）

▶上位チームの記録（郡市名・時間・前回順位）
①上益城郡・5時間23分50秒❺
②菊池郡市・5時間27分12秒❸
③天草市・5時間28分44秒⓱＝途中棄権

▶御船町選手の記録（氏名・住所・時間・区間順位）
▷4区（11.8㌔）／大場祐哉・小　坂・35分27秒④
▷10区（7.3㌔）／山下直樹・辺田見・22分55秒②
▷13区（4.7㌔）／松永匡史・滝　尾・14分39秒⑤

農業振興に夫婦二人三脚で受賞

県農業コンクール大会



受賞を喜ぶ宮本力さんと厚子さんご夫婦

2月12日、第49回熊本県農業コンクール大会（熊本県、各農業団体などが主催）の表彰式が熊本テルサで行われ、宮本力さん・厚子さんご夫婦（高木）に優良賞が贈られました。大会では、個別経営、組織農業、新人王、食農の4部門に37個人・団体がそれぞれ受賞。

宮本さん夫婦は、小麦30㌶、飼料イネ種子生産3㌶、水稲5㌶などを経営する大規模な個別経営農家です。農地を集積した大型機械の有効活用や、栽培が困難なパン用小麦「ミナミノカオリ」を栽培するなどの経営努力が認められ、今回の受賞となりました。